

さいたま市思い出の里警備及び盆・彼岸交通整理業務仕様書

1 件 名 さいたま市思い出の里警備及び盆・彼岸交通整理業務

2 履行場所 さいたま市見沼区大字大谷 6 0 0 外

3 履行期間 令和 8 年 4 月 1 日 から 令和 9 年 3 月 3 1 日 まで

4 業務目的

当該業務は、思い出の里市営霊園内における事故や火災防止、秩序の維持、及び来場者へ園内案内等のサービスを提供し、霊園の円滑な運営に寄与することを目的とする。また、盆及び春・秋の彼岸時期には多数の墓参者により園内が混雑を極めるため、特別に警備及び交通整理の体制を確保するものである。

5 業務範囲

さいたま市（以下「委託者」という。）は、受託者に、さいたま市思い出の里市営霊園、思い出の里会館（以下「会館」という。）、事務所管理棟（以下「管理棟」という。）、立体屋内墓地（以下「屋内墓地」という。）、合葬式墓地、樹林型合葬式墓地及びその他施設の警備業務並びに盆・彼岸時交通整理業務を委託する。

6 業務場所

- ・会 館：鉄筋コンクリート造 延床面積 1,004.20 m²
- ・管 理 棟：鉄筋コンクリート造 延床面積 633.70 m²
- ・屋内墓地：鉄筋コンクリート造 延床面積 3,868.91 m²（1 階から 3 階）
- ・合葬式墓地、樹林型合葬式墓地
- ・その他施設：（会館及び管理棟周辺のトイレ等の施設）
- ・思い出の里市営霊園内の全区域

7 一般事項

（1）受託者は、契約締結後、本委託に関する次のア及びイの書類を委託者に提出する。書類の内容については、事前に委託者と協議する。ウについては、1 日の業務完了後、速やかに提出すること。

ア 業務の責任者及び組織体制

イ 警備員名簿（国家公安委員会規則で定める警備員）

ウ 業務報告書（警備日誌）

（2）受託者は、業務中に事故等を発見したときは、迅速かつ適切な処置を取るとともに速やかに委託者へ連絡すること。

（3）受託者は各業務遂行上、緊急に必要と認められる場合（災害、火災、停電、断水）は臨機の措置を行い、かつ措置について委託者に遅滞なく報告する。

（4）受託者は、業務上知り得た市の秘密事項を第三者に漏らしてはならない。このことは、契約の解除後及び期間満了後においても同様とする。

- (5) 受託者は、業務の実施にあたって、委託者及び第三者に損害を及ぼしたときは、委託者の責任に帰する場合のほかは、その賠償の責任を負う。
- (6) 受託者は、危害発生の防止を図るとともに、業務にあたる施設等の概要、状態等を十分把握して業務に従事すること。
- (7) 受託者は、上記(1)から(6)の他、次の業務を行う。
 - ア 他の委託業者や施設関係者との連絡調整
 - イ 業務履行確認検査の立会い及びその準備
- (8) 受託者は、上記(1)から(7)の他、委託者の依頼に基づく業務については協議による。
- (9) 本仕様書に記載されていない事項であっても、法令により義務付けられている事項及び軽微な変更など業務上当然に必要な事項については、業務履行の範囲に含まれるものとする。

なお、疑義の生じた場合は、委託者と受託者で協議し取り決めるものとする。
- (10) 本仕様書に基づく業務が施設の運営管理上多少の変更があった場合は、軽微な変更として取り扱うものとする。
- (11) 受託者は、契約締結前に委託者と受託者で協議し、委託者の承諾後に支払内訳書を作成し提出する。
- (12) 受託者は、業務を履行するにあたり、人権の尊重を基本とするとともに、人権に関する社員研修の実施等により、業務従事者が人権に配慮することができるよう努めること。

8 用語

- (1) 「巡視」とは、施設等の健全な運営を維持するのに必要な巡回（警戒・監視のために指定された施設内を見回ること）を行い異常がないかを点検し、その結果により、臨機応変の処理及び関係者への連絡をとることをいう。
- (2) 「異常」とは、侵入者、火災・盗難等の恐れ、遺失物、拾得物の発見、風紀衛生を乱す行為、危険行為、違反行為、異音、異臭その他これらに類する状態をいう。
- (3) 「点検」とは異常を発見することをいう。異常が認められる場合は、それらの原因及び保守その他の対応すべき措置の方法等を判断することを含む。
- (4) 「警備員」とは、警備業務に従事する者をいう。

9 業務の責任者及び組織体制

- (1) 受託者は、業務を適正に履行するため責任者を選任する。
- (2) 責任者は、業務実施に当たり、思い出の里市営霊園内の状況を十分把握し、来園者に迷惑のからぬよう指揮監督し、常に委託者と連絡の取れる体制をとること。

10 警備員の資格及び人員確保

業務の実施の適正を図るため、次のとおり警備員を配置する。

- (1) 警備業法に基づく警備員指導教育責任者が教育を実施した者を配置すること。
- (2) 警備員は、適格者を採用すること。

11 警備体制及び服務規律

- (1) 受託者は、委託業務が円滑に遂行できる必要な人員を常時配置すること。
- (2) 業務に従事する者は、一般人が一目瞭然に警備員であることが判る受託者が公安委員会に届出

をしている受託者規定の制服、制帽とし、名札を着用すること。また、装具は警備に必要なものとする。

- (3) 警備員は、業務対象が公共施設であることを十分に認識し、礼儀正しく品行を慎み来園者に対して親切丁寧を旨とし、粗暴な言動があつてはならない。
- (4) 警備員は、勤務中の飲酒、所定の場所以外での喫煙、その他職務遂行を怠るような行動をとってはならない。
- (5) 警備員は、休憩室等の使用について、衛生管理、施設の保守、火災防止等に留意し、必要に応じて室内の清掃を行うこと。

12 業務日及び業務時間

- (1) 業務日は、履行期間と同じとする。
- (2) 業務時間は、以下のとおりとする。
 - (昼間) 午前8時30分から午後5時00分まで
 - (夜間) 午後5時00分から翌日午前8時30分まで

13 業務内容

- (1) 犯罪、火災、その他の事故防止及びこれに伴う必要な処置
- (2) 来場者及び電話の対応
- (3) 遺失・拾得物の取扱い
- (4) 病人等要保護者の取扱い及びこれに伴う必要な処置
- (5) 緊急事故発生時における初動処置及び通報・連絡
- (6) 門等の開閉業務

ア 正門の開閉業務（ただし、葬儀及び通夜により閉門時間が異なる場合あり）

夏期（4月～9月） 午前7時に開け、午後7時に閉める。

冬期（10月～3月） 午前7時に開け、午後6時に閉める。

盆（8月12日～16日まで） 午前6時に開け、午後7時に閉める。

秋彼岸（9月20日～23日まで） 午前6時に開け、午後7時に閉める。

春彼岸（3月19日～22日まで） 午前6時に開け、午後6時に閉める。

イ 北門（農産物直売所北側）の開閉業務

午前7時に開け、午後6時30分に閉める。

ウ 東門の開閉業務（盆、彼岸時のみとし、開閉日については別途協議する。）

盆・秋彼岸 午前6時に開け、午後7時に閉める。

春彼岸 午前6時に開け、午後6時に閉める。

エ 4か所の門（南口門、染谷口門、西福寺口門、日生大谷団地口門）の開閉

午前8時に開け、午後5時に閉める。

オ 2区と3区間の身障者トイレの開錠・施錠

午前8時に開錠し、午後5時に施錠する。

カ 盆・彼岸時における東側トイレ（染谷口門側）の開錠・施錠

午前6時に開錠し、午後5時に施錠する。

- (7) 車止め（バリカー）の開閉（2か所）は、上記（6）門等の開閉業務のア正門の開閉業務に準ずる。

(8) その他委託者が必要とする業務

(9) 警備員は、一回の巡回ごとに、巡回場所及び時間を記録するため、受託者より支給される記録媒体を使用して巡回記録をつけること。

14 警備実施業務（昼間）

(1) 業務体制

ア 巡回方法は、自転車又は徒歩とする。

イ 自転車については、受託者が用意するものとする。

ウ 業務開始及び終了の際に、夜間警備担当者へ巡回記録と併せて円滑な引継ぎを行うこと。

(2) 業務内容

ア 会館、管理棟、墓地、納骨堂、屋外便所、休憩所、水汲み場、園内道路（歩道を含む）、園路、広場、植栽帯、遊水池、修景地、駐車場及びその他霊園内並びに南側斜面林を巡回し、監視、点検することにより迷惑行為や危険行為等を発見した場合は注意指導し、事故・事件等を未然に防止すること。

下記の行為等があった場合は、受託者は委託者に報告すること。また、警備日誌にその詳細を記載すること。

(ア) 建物、設備等の破損及び不良箇所の発見

(イ) 盗難

(ロ) 火災（線香等による枯れ芝火災を含む）

(ハ) 霊園内における自家用車の洗車

(ニ) 自動車等の運転練習及びバイクの乗り回し

(ホ) 犬連れ（南側斜面林は除く）

(ヘ) ホームレス

(ト) 不審車両及び放置自転車

(チ) 不審者及び不審物

(リ) 不法投棄

イ 不審者、不審物の点検、処置及び排除並びに盗難等の報告

ウ 枯れ芝火災等の異常事態発生時における応急処置及び拡大防止並びに報告

エ 墓参者に迷惑となるような行為の防止及び異常の有無の報告

オ 石材業者等の禁止行為の防止及び報告（休日の工事の禁止等）

カ 水汲み場の水道蛇口の確認と水桶、柄杓の整理整頓

キ 立体屋内墓地エレベータ周辺の危険防止

ク 線香火付台周辺の注意（立体屋内墓地含む。）

ケ 立体屋内墓地階段及び手摺り周辺の注意及び危険防止

コ 墓所案内

サ 4か所の門（南口門、染谷口門、西福寺口門、日生大谷団地口門）の施錠（原則、午後5時）

シ 2区と3区間の身障者トイレの施錠（原則、午後5時）

ス 盆・彼岸時における東側トイレの施錠（原則、午後5時）

セ その他委託者と協議して決めた業務

15 警備実施業務（夜間）

（１）巡視項目

警備実施計画を定め、実施するものとする。

- ア 門扉の施錠、開錠及びその確認
- イ 門扉の開閉及びその確認
- ウ 火気点検
- エ 汚損、破損点検
- オ 異臭、異音点検
- カ 不審者、不審物の点検及び発見排除
- キ 消防設備や各種設備の外観点検及び作動点検
- ク 照明の点灯、消灯
- ケ 機器監視及び機器発報時の措置
- コ 来場車両の混雑時の交通誘導など

（２）警備に付随する業務

- ア 遺失物がある場合は、遺失物法に基づき、その品名、発見場所、発見日時、拾得者氏名等の必要事項を記録し、一時保管の上、委託者に移管するものとする。
- イ 通夜及び告別式の郵便物等を授受した場合は、速やかに引渡しをする。
- ウ 不法侵入者を発見した場合は排除する。
- エ 犯罪や火災等の事故が発生したときは、消防署及び警察署へ通報する。
- オ 取扱い事項を記録する。
- カ 業務の開始及び終了時に、昼間警備担当者へ巡回記録と併せて円滑に引継ぎを行うこと。

16 盆及び彼岸交通整理

- （１） 盆、彼岸の交通整理及び誘導の日程（予定）は、別紙スケジュール表のとおりとするが、詳細は別途協議する。
- （２） 誘導員配置時間は、午前８時００分から午後５時００分までとする。
- （３） 盆及び彼岸時の業務

園内及び周辺的安全確保及び渋滞緩和のため、正門入口及び駐車場入口における来園車両と周辺歩行者の円滑な交通整理、臨時門出口における適切な誘導、その他園内における交通整理を行う。

17 異常事態発生における受託者の処置

- （１） 故障の早期発見、事故の未然防止に努めるとともに、火災、停電、断水、その他災害が発生した場合は速やかに関係部署と連絡し、的確な措置を行う。
- （２） 警報受信装置等により受託者の警備対象物に異常事態が発生したことを感知したときは、現場を確認するとともに事態の拡大防止にあたること。
- （３） 受託者は異常事態を確認後、必要に応じて関係先へ連絡するものとする。
- （４） あらかじめ届出のある委託者の緊急連絡者へ連絡する。

18 事故報告書

事故が発生したときは、受託者は委託者に対し速やかに事故報告書を提出するものとする。

19 鍵の授受及び保管

授受された鍵は厳重に取扱い、管理保管をすること。

20 委託者との緊急連絡体制について

受託者は委託者に対し、業務上、緊急に必要と認められた場合は、委託者へ速やかに連絡できる体制を整備すること。また、臨機の措置後は、委託者へ遅滞なく行うこと。

21 必要備品その他の提供

委託者は受託者に対し、警備に必要な次の備品等を提供するものとする。

(1) 連絡網

ア 緊急連絡体制表

イ 各種メンテナンス業者

ウ その他の関係者

(2) 火災報知器及び消防設備の取扱い要領書

(3) 会館、管理棟及び屋内墓地の平面図

(4) 休憩室

22 負担区分

(1) 業務に必要な電気、水道及び電話の使用料は、委託者の負担とする。

(2) 業務に必要な制服、備品、消耗品については、受託者の負担とする。

23 報告書の提出

(1) 受託者は夜間警備業務終了後、委託者に警備日誌を提出すること。

(2) 受託者は月の業務が完了したときは、翌月速やかに完了報告書を提出し委託者の確認を受けるものとする。

24 その他

(1) 業務の実施にあたっては、支障のないように研修等事前準備に万全を期すこと。

(2) 本仕様書に明記されていない事項については、委託者と受託者で協議し決定するものとする。

(3) 契約後、受託者は速やかに委託者と業務について打合わせをすること。

盆及び彼岸交通整理(年13日間)

年	月	日	曜日	祝日等		回数
令和8年	8月	12日	水		盆	5
		13日	木			
		14日	金			
		15日	土			
		16日	日			
	9月	20日	日		秋彼岸	4
		21日	月			
		22日	火			
		23日	水	※秋分の日		
令和9年	3月	19日	金		春彼岸	4
		20日	土			
		21日	日	※春分の日		
		22日	月			